

K U S H I R O
A R T
M A P

くしろアートマップ

立像「春」について 舟越保武

長崎の26聖人の記念像の制作には4年半かかりました。この幣舞橋の「春」はただ1体に1年半かかりました。今までに最も永くかかった制作です。

永くかかればいいというものではないのですが、私としてはこれ以上出来ないというぎりぎりのところまで仕事に打込みました。

出来がよいかどうかは自分には解らないのですが、全力を尽くしたということで私は満足しています。

4体の彫像の中で私のものは布をまっています。私の作るものはいつも動勢が少ないので、布の流れる線によって動きを補ったつもりです。

釧路の皆様はこの4つの彫像が親しみの心を持って迎えられるように願っています。



舟越保武「道東の四季」春
1977(昭和52)年

作者の言葉

幣舞橋・道東の四季の像

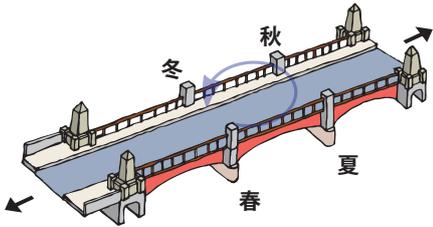


佐藤忠良「道東の四季」夏
1977(昭和52)年

「夏」の像を終えて 佐藤忠良

永い冬とのたたかいからようやく抜けでた春が、霧をとおして贈ってくれた太陽。花たちは一斉に開き、つかの間の道東の夏に、人々のエネルギーは若々しく弾む。そんな気持の彫刻になってくれれば…と希っている。—今となっては多少面映ゆいこの短かな文は、幣舞橋ブロンズ像設置概要の中に私が載せたものです。2度の試作を経て、本制作に入ってから約16年近くを、この像にかかり切りになってしまいました。時間をかけたからと云って、こればかりは必ずよくなるとは限らないもので、この像にかかわるいろんな状況の中で、私は相当肩に力が入っていたようです。制作を終えて私は今、逃げ言葉を探そうとは思っていませんが、最初に意気込んでいたほどにはいかないものであるということ、今度もまた、私のこれまでの、どの作品にも感じてきたと同じ感慨を今更の如く思い知らされているところです。

ロータリー・
釧路市立美術館



釧路駅・MOO
・北海道立釧路芸術館

現在5代目となる幣舞橋。北海道三大名橋の一つと謳われ、長年親しまれてきた前代の橋が、老朽化のため架け替えることになったとき、市民の中から「新しい橋も名橋・幣舞橋としての名に恥じないものになるように」との声があがり、「新幣舞橋の造形を考える市民懇話会」が発足。様々な案が検討された結果、4作家にそれぞれ1体の女性像を制作依頼し、4本の橋脚に飾るといふ、全国的にも珍しい姿が考案されました。市民からの募金も予想をはるかに超える額が寄せられ、1977(昭和52)年5月3日完成。市民の愛情あふれる橋として、またお天気カメラでおなじみの釧路市の顔として親しまれています。

幣舞橋って…

釧路の秋 柳原義達

私は北海道へ、鴉の取材にたびたび出かけた。いつも通る釧路の港街は特殊で、あの夕日とあの霧の景色は忘れることが出来ない。

この美しい釧路の景観の中に幣舞橋がかかっている。美しい橋の記憶は、私の心を鮮明にとらえる。この橋が新しく、かつ近代感覚をもって作られるという。私は、この美しい橋の上に置かれる「道東の四季」の彫刻を引き受けることになった。しかも、その主題は秋である。秋は私にとって、最も色彩豊かな、また爽り多き時である。この美しい時を私が作ることは、大変に幸せである。しかし、内地で考える釧路の秋と、釧路に住んでいる市民の秋とは全く異なる世界であるはずだ。

釧路の秋は、冬に向って身構える秋である。美しい景観の中に、極寒を迎えて立つ私の像は、生やさしいものであってはならない。

心の中に、冬を迎えてのレジスタンスが蠢き、極寒を乗り切らなければならないそこには、苛酷なまでの強い人間の精神力が求められる。きれいな感覚よりも厳しい美しさが私の主題を覆うだろう。「道東の秋」は、このような私の心のあらわれであってほしい。



柳原義達「道東の四季」秋
1977(昭和52)年

「冬」に寄せて 本郷新

「裸体の立像で「冬」を表現せよ」が私に与えられた命題である。

秋が深まるにつれて、北国の人々は冬にそなえてさまざまな準備をする。物にも心にも用意が要る。そしてまた、冬が深まるにつれて人々は暖い春の日ざしを待ち望む。だが、北国の人々にとっても、春夏秋冬は等価として存在する一。こんな理屈のようなものを下敷にしながら、私は私の「冬」を考えてみる。

釧路の日没はきわだって美しい。その水平線に向って私の「冬」が立つとすれば、この像は橋の上から西の大空間に向って、何かを呼び何かを訴え、何かを祈るかのような形になるかと考えた。

私の「冬」がある日は深い霧の中をさまよひ、ある日は夕陽の紅を胸一ぱいに抱きながらあの大きな空間と会話を交わすことになれば作者は足りるのである。



本郷新「道東の四季」冬
1977(昭和52)年

Walking

散歩しよう！

街を歩くとユニークな建物や彫刻が目を惹く街・釧路。
 釧路出身の建築家・毛綱毅曠の斬新なデザインの建築物を眺めながら、美術館で展覧会を楽しむ。そんな街歩きを楽しみませんか？
 丘の上に上って絶景を楽しんだり、喫茶店で一息のんびりした時間を過ごす・・・そんな寄り道もあわせたら、きっと心をリフレッシュする素敵な時間が過ごせます。

もつなきこう
毛綱毅曠(1941-2001) MOZUNA KIKOH

釧路出身の建築家。東洋思想をイメージ化した独創的なデザインは建築界、美術界に大きな影響を与えました。釧路市富士見の「反住器」(1972)は母親の住居として建てられた初期の代表作。85年釧路市立博物館、釧路市湿原展望台の設計により日本建築学会賞受賞。ロンドン、パリでの個展をはじめ海外でも活躍し、95年から多摩美大教授。2001年北海道立釧路芸術館で「毛綱毅曠」展開催の直前に逝去。



美術館
トッカリ美術館
 ●入館料無料
 ●開館日 年末年始をのぞく平日
 ●開館時間 午前9時～午後3時
 ※事前に予約(0154-42-6116 釧路市美)して下さい。

画廊
JR釧路駅画廊
 ⇒詳細右面

毛綱毅曠建築
NTTドコモ釧路ビル
 ●館内の見学はできませんが、夜になるとステンドグラスがライトアップされ、夜空に浮かび上がります。

画廊
釧路画廊
 (三ツ輪ビル3階)
 ⇒詳細右面

幣舞橋
 ●橋脚に舟越保武・佐藤忠良・柳原義達・本郷新により制作された「道東の四季の像」が設置されています。
 ⇒詳細裏面

毛綱毅曠建築
釧路キャッスルホテル
 ※内部はロビーのみ観覧できます。
 ●Tel. 0154-43-2111

毛綱毅曠建築
反住器
 ●一般の方は入ることができません。外観のみお楽しみください。

毛綱毅曠建築
釧路市立幣舞中学校
 (旧釧路市立東中学校)
 ●入館料無料
 ※内部の観覧は職員室で受付してください。
 ※学校の授業や行事の都合によっては、観覧できない場合があります。
 ●Tel. 0154-41-3591

毛綱毅曠建築 **博物館**
釧路市立博物館
 ⇒詳細右面

毛綱毅曠建築
北海道釧路湖陵高校同窓会館
 ●一般の方は入ることができません。外観のみお楽しみください。

科学館
釧路市こども遊学館
 ⇒詳細右面

ギャラリー
la mer(ラ・メール)
 (釧新ビル1階)
 ●入館料無料
 ●休館日 木曜日(臨時休館あり)
 ●開館時間 午前11時～午後6時
 ●Tel. 0154-23-0002

美術館
北海道立釧路芸術館
 ⇒詳細右面

毛綱毅曠建築
釧路フィッシャーマンズワーフMOO
 ●入館料 無料
 ●定休日 なし(1/1は休館)
 ●開館時間
 物販ゾーン 午前10時～午後7時
 (7月～8月:午前9時～午後7時)
 飲食ゾーン 午前11時～午後10時
 港の屋台 午前11時30分～午後2時、午後5時～12時
 ●Tel. 0154-23-0600(釧路河畔開発公社)

美術館
釧路市立美術館
 (釧路市生涯学習センター3階)
 ⇒詳細右面

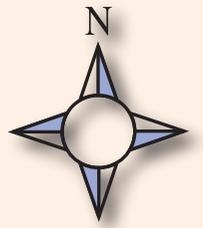
毛綱毅曠建築
ふくしま医院
 ●入館料 無料
 ●休館日 日曜日・祝日
 ●開館時間 午前9時～午後6時
 (土曜日:午前9時～午後5時)
 ※内部は待合室のみ観覧できます。受付にお申し出下さい。
 ●Tel. 0154-41-8666

0 500m

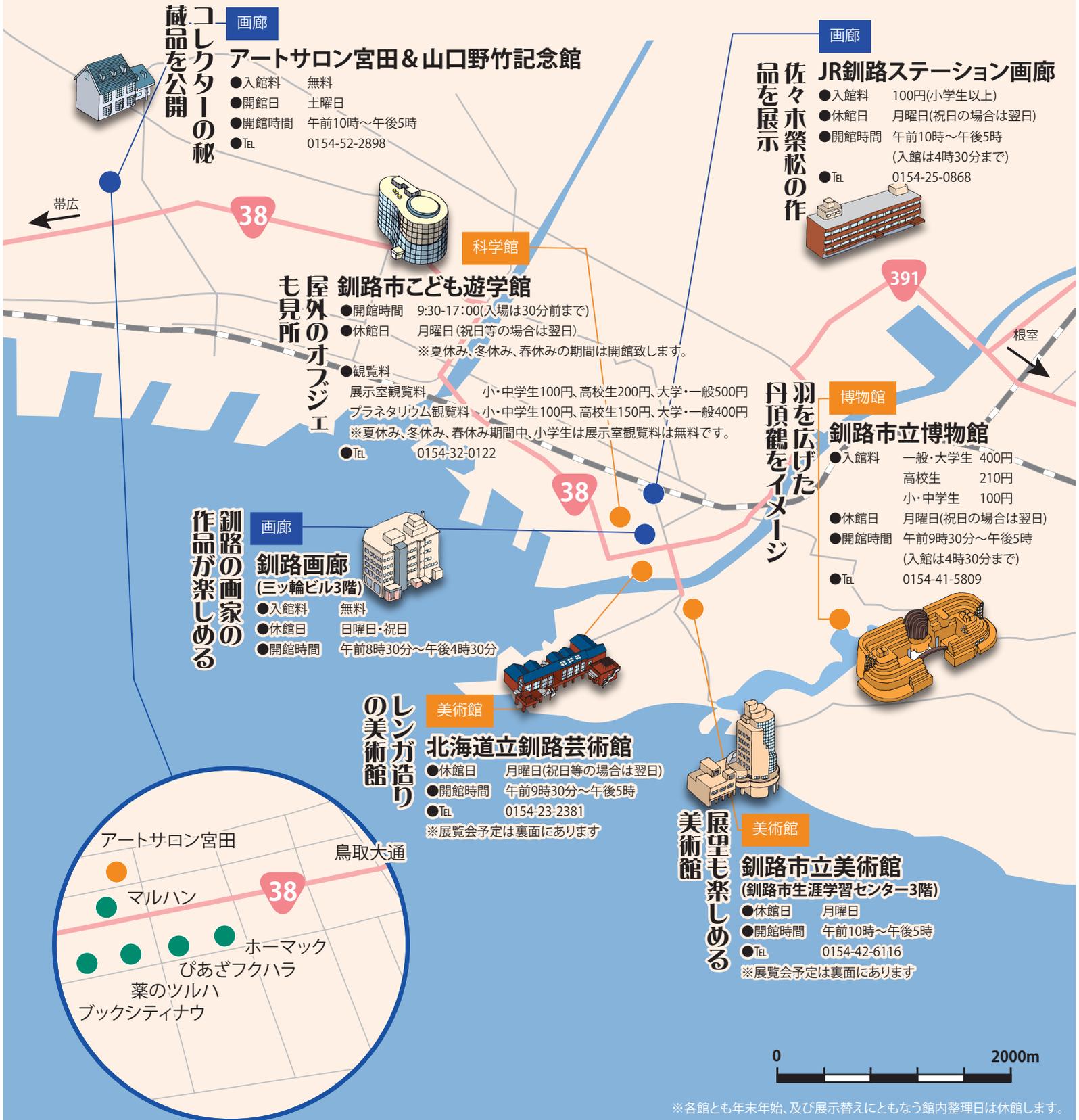
※各館とも年末年始、及び展示替えにともなう館内整理日は休館します。

注意:建築物は個人の住宅、事業所や学校であるため、入ることができないものがあります。

少し遠出しよう！



釧路には美術館や博物館がいっぱい。個人で集めたコレクションや、一人の画家を取り上げた画廊など、個性あふれる館が多いのも特徴です。ちょっと自転車で、街を颯爽と駆け抜けてみませんか？



Driving

ドライブしよう!

少し街を離れてみると、そこにも毛網毅曠の建築や特色ある美術館が、雄大な自然とともにあなたをお待ちしています。

車で半日、ドライブに丁度いいコースです。



屈斜路湖

摩周湖

阿寒湖

塘路湖

円柱とドームが
宇宙を象徴

毛網毅曠建築

屈斜路コタンアイヌ民俗資料館

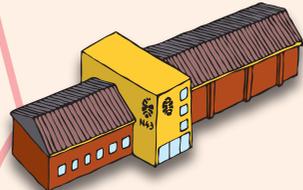
- 入館料 大人 400円
小中学生 270円
- 開館期間 4月29日～10月31日
- 開館時間 午前9時～午後5時
- TEL 01548-4-2128

北緯43度圏で生活
する人々の美術

美術館

北緯43度美術館

- 入館料 一般 700円
高校・大学生 500円
小・中学生 300円
- ※特別展開催中は別途入場料を定めます。
- 休館日 月曜日
- 開館時間 午前10時～午後5時30分
- TEL 0154-66-1117

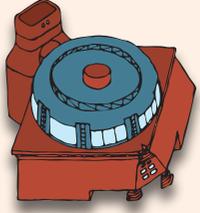


湿原に群がる谷地坊
主をイメージ

毛網毅曠建築

釧路市湿原展望台

- 入館料 一般・大学生 360円
高校生 210円
小中学生 100円
- 休館日 なし
- 開館時間 午前8時30分～午後6時(5月1日～10月31日)
午前9時～午後5時(11月1日～4月30日)
- TEL 0154-56-2424

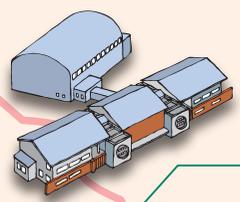


森の学校
フクロウの目を持つ

毛網毅曠建築

白糠町立茶路小中学校

- 入館料 無料
- ※内部の観覧は職員室で受付してください。
- ※学校の授業や行事の都合によっては、観覧できない場合があります。
- TEL 01547-2-2797



※各館とも年末年始、及び展示替えにともなう館内整理日は休館します。

